

ふるさと 奥出雲 情報

2010 ふるさとからあなたに情報発信

発行：奥出雲町役場 島根県仁多郡奥出雲町三成358番地1 電話：0854-54-1221 Fax：0854-54-1229
ホームページアドレス <http://www.town.okuizumo.shimane.jp/>



奥出雲町の概要 <平成22年10月1日現在>

総面積・・・368.06km²
標高・・・仁多庁舎所在地 233m・横田庁舎所在地 332m
人口・・・14,846人（県下21市町村中11番目）
世帯数・・・4,948世帯
財政状況 <平成21年度一般会計決算額>
歳出決算額 161億8千万円
（参考）H17年度 153億9千8百万円 H20年度 156億4千8百万円
H18年度 173億3千9百万円 H22年度 155億5千8百万円
H19年度 164億3千万円（H22年度9月補正後の予算額）
経常収支比率 83.9%
経常収支比率=町で必ず支出する費用：人件費、物件費、補助費、公債費等
歳入：市町村税+普通交付税等
実質公債費比率 22.5%
実質公債費比率=借入金の返済、債務負担の支出、病院その他の繰出金
歳入：市町村税+普通交付税等
財調・減債基金残高（町の貯金） 10億8千9百万円

ふるさとを離れてご活躍中の皆様へ

奥出雲町長 井上 勝 博

ふるさとを離れてご活躍中の皆様には、お元気でお過ごしのことと拝察いたします。ここ奥出雲町もすっかり秋めいて参りました。皆様方にふるさと「奥出雲町」の近況や町の話などをご覧いただけたらと「ふるさと情報」をお届けします。

今年度は、奥出雲町発足5周年の節目の年にあたり、5月に記念式典を盛大に開催したほか、様々なイベントや行事を行い、町民の融和と町の一体感を更に強めたところです。

現在、町の将来計画となる「総合計画」策定に向け、行政・町民・企業・団体などあらゆる主体が「活力ある奥出雲町への思い・夢」を共有し、参画できるまちづくりを目指しております。

今後も健全な財政運営に配慮しつつ、全力で町政運営に取り組んで参ります。

奥出雲町発足 五周年記念事業

新たな誓い

五周年記念式典

奥出雲町発足五周年記念式典が五月十五日、カルチャープラザ仁多で開催され、近隣の首長をはじめ、町民約三百五十人が五年の歩みを振り返るとともに、活力ある町づくりへ決意を新たにしました。

また、奥出雲町初となる名誉町民に岩田一郎氏、木原明氏が、また町づくりに貢献のあった個人・団体に特別功労者表彰が贈られました。

第八十一期棋聖戦

羽生棋聖が来町

棋聖戦の開幕戦第一局が六月八日、亀高温泉「玉峰山荘」で行われました。約九時間にわたる対局の末、羽生善治棋聖が百三手で、深浦康市王位を制しました。



対局の様子

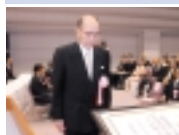
第94回 仁多郡陸上競技大会



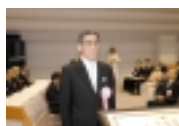
力走する特別招待選手

十月十日、第九十四回仁多郡陸上競技大会が三成公園陸上競技場で開催され、世界ジュニア選手権優勝者を特別招待し、盛大に開催しました。

名誉町民



岩田 一郎氏



木原 明氏



記念式典の様子

夏期総合 特別訓練



一斉に操法披露

六月二十日、三成・横田の市街地で大地震を想定した避難訓練、横田運動公園多目的広場で部隊訓練・操法訓練が行われました。

与謝野晶子

短歌文学賞

与謝野晶子・鉄幹の山陰吟行八十周年を記念した「第十六回与謝野晶子短歌文学賞」が七月三日、四日にカルチャープラザ仁多で開催されました。



発表会の様子

横田高校ホッケー部 全国大会で活躍

全国高校選抜ホッケー大会 男子優勝・女子準優勝



全国選抜報告会

三月に岐阜県で開催された、第四十一回全国高校選抜ホッケー大会で、男子が二年ぶり四度目の優勝、女子が準優勝に輝きました。

千葉国体で 女子準優勝・男子第三位



国民体育大会報告会

十月に千葉県で開催された、第六十五回国民体育大会において、横田高校女子ホッケー部が準優勝、男子が第三位に輝きました。

中学生が全国大会で活躍

八月に行われた、第三十七回全日本中学校陸上競技大会（女子走高跳）において、宇田川萌乃香さん（仁多中・三年）が、島根県中学新記録で準優勝に、また、十月に開催された第四十一回ジュニアオリンピックでは、大会新記録で見事優勝に輝きました。



表彰を受ける宇田川さん

また、第四十回全日本中学生ホッケー選手権大会では、横田中学校女子ホッケー部が第三位に入りました。



第3位の横田中女子ホッケー部の皆さん

古豪復活

穴道湖一周駅伝競走大会 奥出雲町チーム初優勝

四月に開催された、第六十五回穴道湖一周駅伝競走大会で、奥出雲町チームが強豪雲南市を三秒差で振り切り、初優勝を飾りました。

また、昨年十二月に開催された第十八回浜田・益田間駅伝競走大会（しおかぜ駅伝）では見事第三位に入賞しました。



選手・スタッフの皆さん



設立総会の様子

関西在住の奥出雲町出身者でつくる「近畿仁多会」と「関西よこた会」が統合し、昨年十一月に「関西奥出雲会」（源大佑会長・会員六五〇名）の設立総会が、大阪市港区のホテルで開催されました。

奥出雲町でドラマロケ

今秋、五夜連続で放映される、橋田壽賀子脚本、草薙剛主演による、TBS開局六十周年記念ドラマ「99年の愛（JAPANESE AMERICANS）」のシーンロケが六月に町内各所で行われました。

町内からも約六十人のエキストラが出演しました。



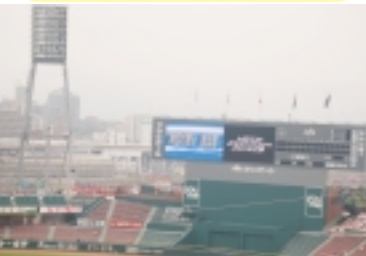
地元からもエキストラで出演

町内にアート看板を設置



奥出雲の「神話・雲・鬼の舌震」をモチーフにしたアート看板を県境や町境（佐白・亀嵩・上阿井・三沢・竹崎・八川）の六箇所に設置しました。

広島マツダスタジアムでふるさと自慢



四月三日からトロッコ列車が運行し、出雲市駅からの運行が開始されました。これにより、交流人口の拡大が期待されています。

広島地区への情報発信事業の一環として、広島新球場「マツダスタジアム」の大型ビジョンで三十秒間の観光PR（今シーズン四回）を行いました。

奥出雲町の魅力をPR 「まちの駅長」誕生



「まちの駅長」の皆さん

JR出雲三成駅を中心に、トロッコ列車「奥出雲おろち号」の乗客の歓迎や町の観光資源をPRする「まちの駅長」（四月から駅の委託業務を行う、奥出雲振興の新規職員四人）が誕生しました。

開館十周年

亀嵩温泉「玉峰山荘」入館者が百五十万人達成



今年開館十周年を迎えた玉峰山荘の入館者が八月七日で百五十万人を突破しました。また、将棋の里見香奈女流二冠によるトークショーなど数々の記念イベントが開催されました。

三成公園遊園地に大型シェルターが完成



多くの家族連れで賑わう三成公園遊園地に、休憩所となる大型シェルターを整備しました。

四年にわたる 横田中学校 耐震大規模改修工事が完了

校舎と体育館の老朽化による改修と新しい耐震基準を満たすため、平成十八年度から四期、四年にわたって進められていた横田中学校耐震大規模改修工事が昨年十月に終了しました。

教育施設整備進む



改築が進む亀嵩小学校校舎



改築が進む馬木小学校屋内運動場



改修された仁多中学校屋内運動場

完成目前 「尾原ダム」

山陰屈指の規模を誇る尾原ダムの堤体部のコンクリート打設工事が六月に完了しました。引き続き天端高欄、橋梁、電気通信設備工事などが行われ、今年十一月から試験湛水が行われます。なお、ダム湖名は「さくらおろち湖」に決定しました。



三成街路灯を整備

平成五年に整備された三成地内の街路灯の老朽化に伴い、LED（発光ダイオード）を採用した街路灯百四十基を整備しました。七色に変化するLEDと、歩道を照らすフットライトが特徴。総事業費は九千八百万円。

四月に延命水で有名な「JR出雲坂根駅」が「奥出雲延命水の館」として新築されました。

「奥出雲延命水の館」完成



完成したJR出雲坂根駅「奥出雲延命水の館」

地元産木材をふんだんに利用し、集会所機能や延命水の水汲み場、隣接地に駐車場も完備し、利便性が向上しました。



点灯式の様子

遠方家族の写真も配信!! テレビ電話を活用・双方向サービスを充実

デジタル写真登録
(最大10枚)

何もしなくてもいつも新しい写真が見れていいな

テレビ電話を使っていつでも顔を見て話ができるよ
(双方向通信)

安否確認「おはようタッチ」メール発信サービス

朝起きたらご両親がテレビ電話にタッチ

安否確認メール

PCまたは町外モニター用テレビ電話から家族の写真をご両親宅のテレビ電話に登録できます。

デジタルフォトフレームサービス

テレビ電話町外モニター

(町外に住むご家族)

毎日、自動で連絡が入るので安心

町外モニターとして設置

携帯電話、PCでメール受信おはよう。今朝もテレビ電話にタッチしたよ。

地域新エネルギービジョンを策定

奥出雲町では、地球環境へ配慮した「新エネルギー」の導入と普及に取り組むため、奥出雲町地域新エネルギービジョンを策定しました。

このビジョンでは、本町最大の地域資源である森林資源を活用した木質系バイオマスをエネルギー利用を中心に、雇用の創出や森林保全などを図っていきます。

新町発足から五年が経過し、今後の町づくりの新たな目標となる「奥出雲町総合計画」の策定を進めています。

現在、各専門分野から選ばれた二十四人の委員による審議会を中心に、三つの分科会や専門委員会を協議・検討が重ねられ、平成二十二年度内の策定を目指しています。

新たな目標づくりへ 奥出雲町総合計画を策定しています

第1回策定委員会の様子

奥出雲ごこち
OKUIZUMO GOKOCHI

<URL <http://www.okuizumogokochi.jp>>

奥出雲の魅力情報を発信するサイト「奥出雲ごこち」をオープンしました。

奥出雲町の観光情報、グルメ情報などのほか、従来の行政からの情報提供型ではなく、ユーザー投稿も促進するサイトです。

インターネット上で奥出雲町のファンを全国から募集し、ユーザー投稿による口コミで、奥出雲ファンの輪を広げ、奥出雲を楽しく応援するサイトです!!

支援制度を充実しました

子育て支援

多子世帯医療費助成
満22歳以下の子ども3人以上養育している場合、中学生以下の子どもの医療費を全額助成

多子世帯保育料無料
保育所、幼稚園に入園しているご家族で、入園年度において中学3年生以下の子どもが3人以上いる場合、第3子以降の保育料無料、幼稚園給食費無料

奥出雲町独自の保育料
奥出雲町の保育料は、国の基準に比べ低く設定しています。3歳児以上の保育所保育料の上限が月額15,000円、幼稚園保育料が月額5,000円

「子育て支援室」を新設
教育委員会の生涯学習課内に「子育て支援室」を新設
定住対策

若者定住奨励金
今年度からUターン者の奨励金制度の拡充と金額を倍増しました。

【奨励金額】・Uターン単身者 10万円
・Uターン世帯者 20万円
・新規学卒者 10万円

空き家バンクの創設、無料職業紹介所を開設
住まいと求人求職情報を提供する「空き家バンク」と「無料職業紹介所」を開設します。